

# Elazzio

---

## SEAT COVER



**TOYOTA**  
**CROWN**

専用シートカバー取付説明書

# Clazzio

## SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

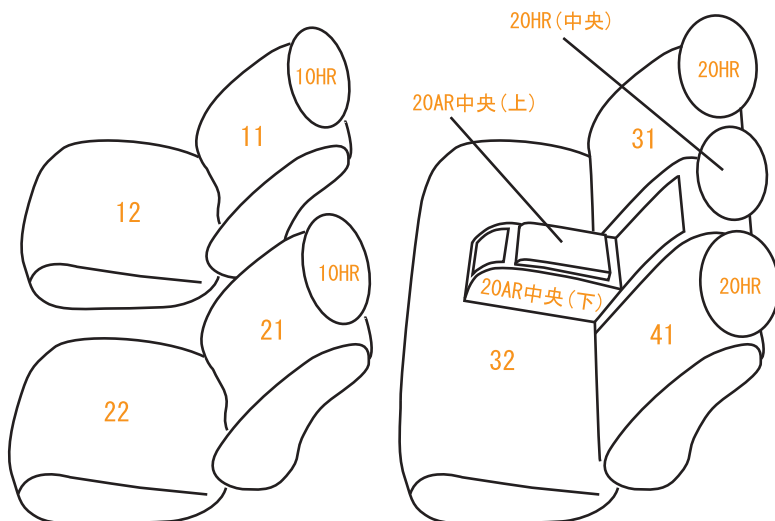
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P～7P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 8P～10P
2 列目座面の装着方法	…> 11P～13P
2 列目背もたれの装着方法	…> 14P～18P
2 列目アームレスト(フタ)の装着方法	…> 19P～20P
2 列目アームレスト(本体)の装着方法	…> 21P～22P
2 列目座面を車体に戻す方法	…> 23P
ヘッドレストの装着方法	…> 24P～25P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 26P～27P

## 本製品シート形状とパーツの名称



### 取付必要工具



- ① ソケットレンチ (10mm) (12mm)、エクステンション (100mm以上)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)
- ④ 両面テープ

この車種は上記の工具を使用します

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押し、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



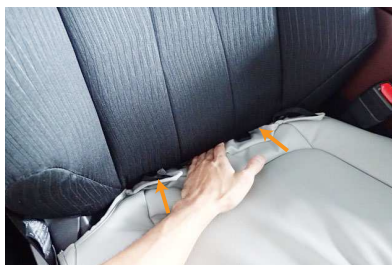
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

## Step 1

## 1 列目運転席座面の装着方法



- 1** 始めに、シート背面下の生地を外します。生地は、シート裏にあるプラスチックフック（左右2箇所）にゴムを引っ掛けて固定されています。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 2** シートを一番高い位置にします。  
※助手席はこの作業は必要ありません。



- 5** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。カバーの切れ込みで配線をかわすようにして下さい。



- 3** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 6** カバー前側に付いているベルトを、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込み、下から引き出します。





- 7** 前側の生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 10** シートとシートベルトバックルの隙間に生地を入れ込みます。



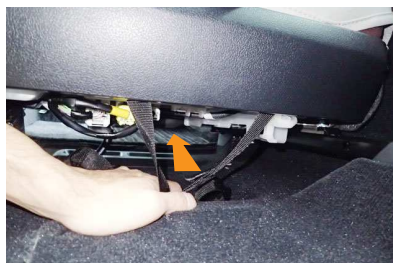
- 8** ヘラ等を使用し、外側面に付いている固定部材を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。この時、固定部材前後の生地も同様に投入して下さい。



- 11** カバー内側面に付いているマジックテープをシート表皮に直接貼り付け固定します。



- 9** 固定部材と前後の生地を入れ込んだ後の図です。



- 12** 5ページ6番で引き出したベルトを、シート裏から背面側へ通します。この時、シート裏の配線などにはできるだけ干渉しないように通して下さい。



- 13** 6ページ12番で背面側に通したベルトと5ページ5番で引き出した生地が付いているベルトを固定します。  
詳しい固定方法は14番を参照して下さい。



- 16** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。  
助手席も同様に取り付けます。



- 14** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。  
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 15** 5ページ5番で引き出した生地の両端に付いているゴムを、5ページ1番で外した生地が固定されていた、シート裏のプラスチックフックに引っ掛け固定します。

## Step 2

## 1 列目運転席背もたれの装着方法

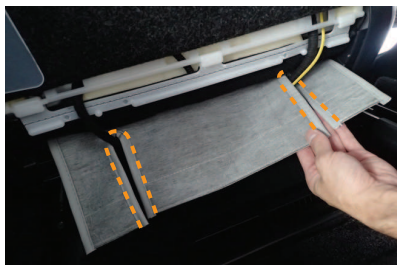


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 5ページ1番で外した生地を折り込んでポケットの中に入れ込みます。



- 4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。座面と同様に、カバーの切れ込みで配線がかわすようにして下さい。



- 2 ファスナーを開け、カバーをシート全体にかぶせます。



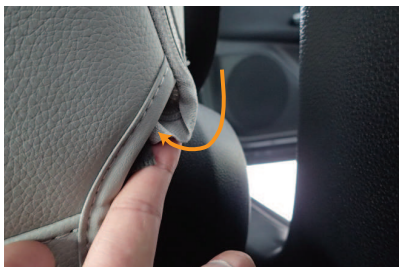
- 5 カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じません。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



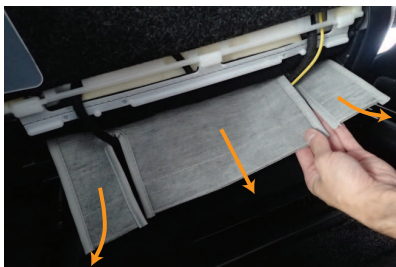
- 7** ファスナーの端をカバーの中へ入れ込みます。



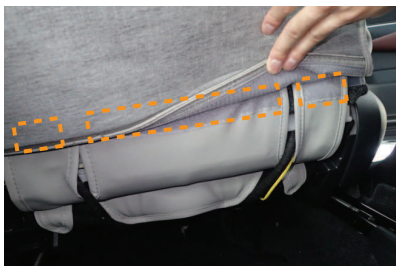
- 8** カバーをしっかりとシートになじませます。



- 9** シートを後ろに倒し、付け根の端までかぶさるように、カバーを広げます。



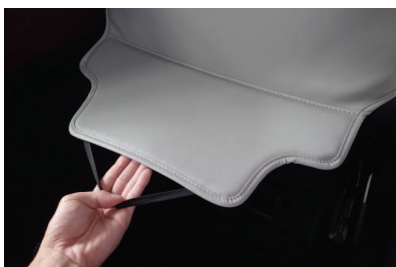
- 10** 再度、背面の生地を引っ張り出します。この時、両サイドの生地は外側に引っ張るようにします。



- 11** 10番で引き出した生地に付いているマジックテープと、背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。

**⚠ 注意 ⚠**

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 12** カバー背面下部の生地に付いているゴムを5ページ1番で外した生地が固定されていたシート裏のプラスチックフックに引っ掛け固定します。



- 13** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。  
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。  
助手席の内側面にパワーシートスイッチがあるお車は、14番、15番をご覧下さい



- 14** 助手席の内側面にパワーシートスイッチがあるお車は、ヘラ等を使用し、シートとスイッチの隙間に生地を入れ込みます。穴位置がずれている場合は、カバーを馴染ませ直して、穴位置を合わせて下さい。



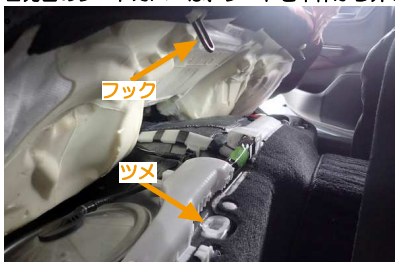
- 15** 生地を全て入れ込むと図のようになります。

## Step 3

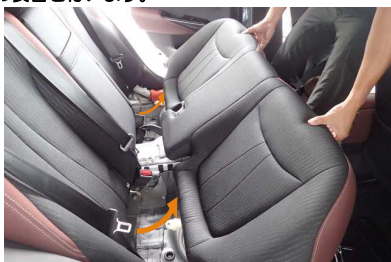
## 2列目座面の装着方法

※別品番の図を使用していますが、座面形状は同じです。

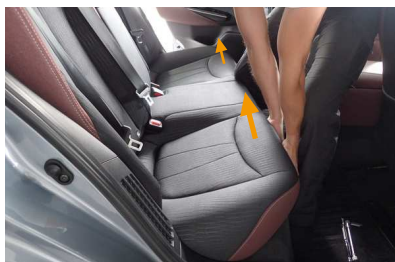
2列目のシートカバーは、シートを車体から外してカバーの装着を行います。



- 1** シートを車体から外します。座面はシート裏のフックと、車体側のツメで固定されています。



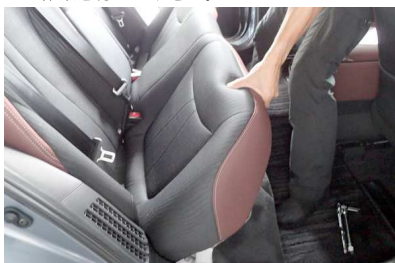
- 4** 3番の状態からシートを斜め前にスライドさせるようにして引くと、シートが完全に車体から外れます。この際シートベルトバックルを車体の金属部分で傷を付けないように注意して下さい。



- 2** シートの裏に手を掛けて、フックの位置を確認します。フックの位置を意識してシートを真上に持ち上げます。フックは運転席側・助手席側にそれぞれあります。腰などを傷めないように、しっかり姿勢を整えて作業を行って下さい。



- 5** シートを作業の行い易い場所へと運び出します。シートを運び出す際は、車体に傷などを付けないように慎重に運び出して下さい。



- 3** フックが外れると図のようにシートの前側が車体から外れて持ち上がります。



- 6** カバーを図のように裏返して、シートのラインに合わせます。



- 7** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



マジックテープの固定位置

- 10** シート中央の付け根部分です。この位置のカバーには、生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 8** シートの付け根にあるコの字型のフックにカバーの加工穴を通します。運転席側、助手席側共に穴に通します。



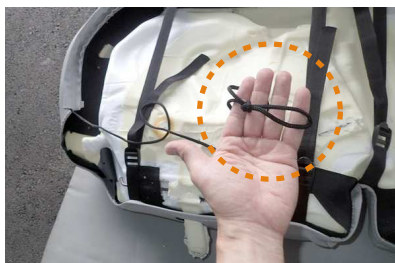
- 11** シート前後のベルトを合計6本固定します。



- 9** シートを裏返して、シート裏のフックにカバーの加工穴を通します。運転席側、助手席側共に穴に通します。



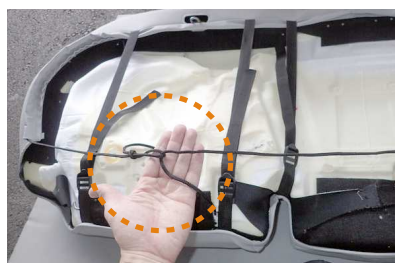
- 12** ベルトはあまり強く固定しすぎると、シートを車体に戻す際に反発して戻しづらくなります。固定したベルトを手で軽く押さえて、シート裏のクッションに当たる程度に調整して下さい。



- 13** カバーの両端から出ている片方のヒモで、図のように輪を作り、結び留めます。



- 16** シートの裏側は図のようになります。



- 14** 作った輪にもう片方のヒモを通します。通したヒモを引くと、カバーの下周りが絞り込まれていきます。



- 17** シートを表側に向けます。シートベルトバックル収納部の生地を整えます。



- 15** 絞り込んだヒモを緩まないように結び留めます。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。  
シートは背もたれカバーを装着して、背もたれシートを車体に戻した後に、車体へ戻して固定します。  
戻す方法は23ページをご覧ください。



## Step 4

## 2列目背もたれの装着方法



- 1 シートベルトガイドに固定されているシートベルトを、ガイドから外します。図はシートベルトガイドの裏側から写っています。ガイドの裏側にあるロックを解除することが出来る穴を、先端が細い物で押します。図では割り箸を使用しています。先端が鋭利すぎるもので押すとプラスチックパーツに傷が付くので、ご注意ください。



- 2 シートベルトガイドのロックが解除できたら、図のようにシートベルトを挟み込んでいたツメが開きます。開いた隙間を通してシートベルトをシートベルトガイドから外します。



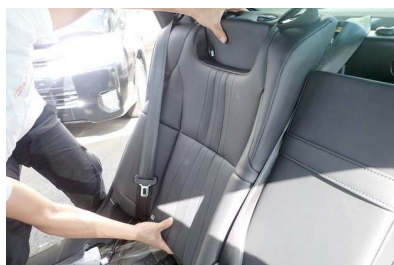
- 3 シートを車体から外します。  
※シートは一番後ろまでリクライニングさせた状態で作業を行って下さい。  
シート下側中央辺りにある図のボルト2本を、ソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは12mmを使用します。



- 4 ヘッドレストを外すとブラキャップが2カ所あります。ブラキャップを指で引っ張り外します。外れにくい場合はへらなどを使用して下さい。



- 5 ブラキャップを外すと奥にボルトが見えます。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは12mmを使用します。



- 6 シートを図のように上下でしっかりと持ち手前に引き出します。シートベルトをかきながらシートを車体から外します。



- 7** シートを作業の行いやすい場所へと運び出します。  
シートの背面に付いている、シートと車体の隙間を埋める図のプラスチックパーツを外します。  
※プラスチックパーツは車体側に残っている場合があります。その場合は車体側から取り出して下さい。



- 8** シート肩口に付いているシートベルトガイドを外します。ドライバーを使用してネジを2本外します。



- 9** ネジを外すと図のようにシートベルトガイドが外れます。  
シートベルトガイドは運転席側に2カ所、助手席側に1カ所あります。それぞれ外して下さい。



- 10** シートカバーの上側に付いているベルトを7番で外したプラスチックパーツを固定していた金属部分の内側に通します。ベルトは左右に2本あります。2本とも同様に通します。



- 11** シートカバーをかぶせていきます。シートの肩口からカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



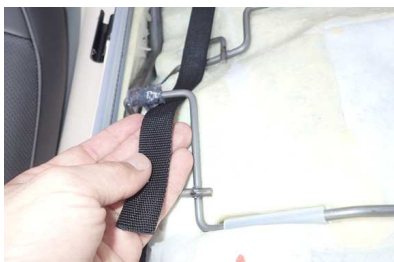
- 12** シートの下側です。11番でかぶせた肩口を基点に、シートの下側にもカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



**13** ヘッドレストの台座を取り出します。



**16** シートカバーの側面に付いているブラックを純正シート表皮を固定しているフックの上から図の用に引っ掛けて固定します。



**14** 10番で金属部分の内側を通したベルトはシート背面中央部分の金属部分でも内側を通します。



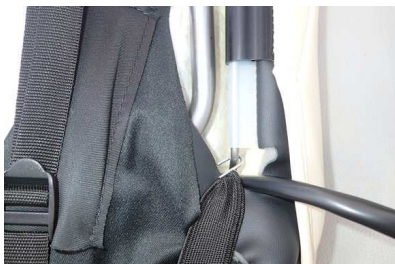
**17** ブラックはシート外側に2カ所、内側に3カ所付いています。全て同様に固定します。



**15** シートの背面で上下のベルト2本を固定します。



**18** シートカバー背面外側の下に、幅の広いゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを図のように取り付けます。



- 19** 金属フックはシート表皮を固定している金属部分に引っ掛けて固定します。



- 20** シートベルトガイドを生地を挟み込み元通りに固定します。



- 21** カバーのラインを整えて、シートカバーの装着は完了です。助手席側も同様に取り付けます。  
**22番**からはシートを車体に戻す説明になりますが、戻す前にアームレストを装着する必要がある為、先に19～22ページの作業（アームレストカバーの取り付け）を行ってください。

※アームレストカバー装着後、シートを車体に戻します。



- 22** 7番で外したプラスチックパーツを元通りにシートへ固定します。生地が厚みがあるので若干固定しづらくなっています。裏側のツメを意識してしっかりと固定して下さい。



- 23** シートベルトが内側に入り込まないように注意してシートを元に戻します。シートベルトは図のようにかわしてシートを車体に戻して下さい。



- 24** シートを車体に戻します。  
**22番**のプラスチックパーツを図の隙間に入れ込みます。プラスチックパーツは横にずれていても入り込みません。位置を調整しながら慎重に入れ込んでいきます。



- 25** シートを慎重に車体側へ押しながらプラスチックパーツを入れ込んでいきます。プラスチックパーツが問題なく入っていきは**3番**と**5番**で外したボルトの穴位置を意識してシートを車体に戻します。



- 28** ヘッドレストの収納部は図のようになります。背もたれカバーのみ装着した状態では生地が浮きやすくなっています。ヘッドレストをシートに戻すことで、生地が馴染んでいきます。



- 26** ボルトの穴位置を合わせて固定していきます。ヘッドレストの収納部のボルトはカバーの加工穴を通して固定します。



- 29** シート下側のボルトも同様に固定します。



- 27** **4番**で外したブラキャップも加工穴を通してシートに固定しなします。  
※ブラキャップは生地を挟み込みながら固定する仕様では無いので、ご注意下さい。



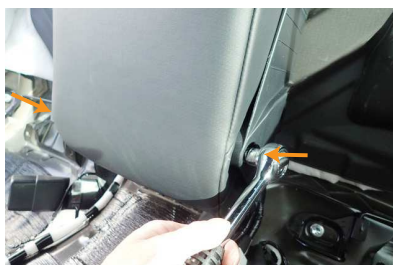
- 30** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## Step 5

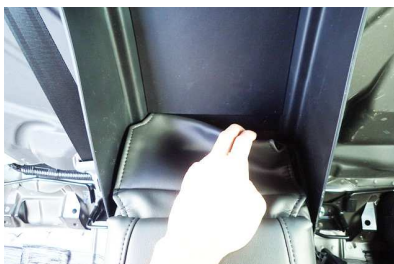
## 2列目アームレスト（フタ）の装着方法



- 1** 始めに、2列目アームレストは図のように背もたれと座面を外した状態で作業を行います。



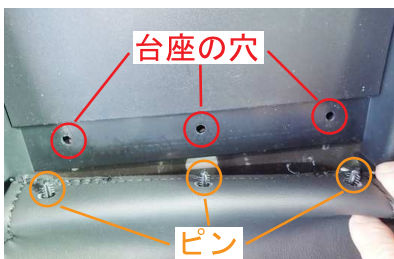
- 4** ソケットレンチ（10mm）を使用し、アームレストの軸部分にある2本のボルトを外し、アームレストをフレームから外します。  
※配線が後ろ側で繋がっています。配線が繋がった状態で作業を行います。



- 2** アームレストの付け根に付いている生地をプラスチックのフレームから外します。  
詳しい外し方は3番を参照して下さい。



- 5** アームレストのフタ部分の前側からカバーをかぶせます。  
※図は、見やすいようにアームレストを取り外した状態で説明していますが、実際に装着する際は外さずに行います。



- 3** 生地は、3本のピンがプラスチックのフレームの穴に刺さっている状態になっている為、図のように手で生地を引っ張る事で外す事ができます。



- 6** フタ全体にカバーをかぶせます。



- 7 フタの裏にある、ゴムやツメとカバーの穴位置が合っていることを確認して下さい。位置がずれている場合はカバーをずらして調節して下さい。



- 10 ヘラ等を使用し、ロック解除ボタンの周りにあるプラスチックの枠と純正表皮の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 図のように、アームレスト両側面の生地の内側にある縫い代（生地を縫い合わせた際に1cm程余った部分）を表側に倒します。縫い代が内側にあると、生地の厚みでフタを閉じた際に、ロックが掛からなくなる可能性があります。



- 11 カバーのラインを整えて、2列目アームレスト（フタ）の完成です。



- 9 図の位置に両面テープを貼ります。両面テープを貼る事で10番で行う生地を入れる作業の後に生地が出にくくなります。※アームレストの使用状況によっては、生地が出てきてしまう場合があります。

## Step 6

## 2列目アームレスト（本体）の装着方法



- 1 アームレストの付け根側からカバーをかぶせます。



- 4 カバー全体を馴染ませた後、カバーの両サイドに付いているプラスチック部材の付け根側を、フレームとアームレスト本体の隙間に入れ込みます。



- 2 アームレスト前側にカバーをかぶせます。



- 5 プラスチック部材を前まで全て入れ込みます。  
※前の方は隙間が狭い為、慎重に作業を行って下さい。



- 3 アームレストの付け根にある、純正表皮が引っ掛けられているプラスチックのツメ部分に、カバーの加工穴（切れ目）を通します。  
※無理に引っ張ると、切れ目から生地が裂ける恐れがありますのでご注意ください。

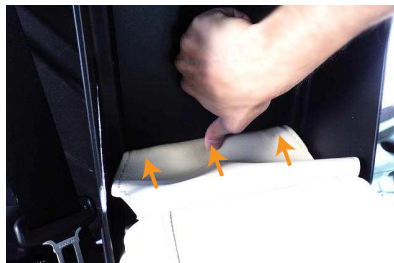


- 6 前側のコーナー部分の生地を、フレームとアームレスト本体の隙間に入れ込みます。





**7** ドリンクホルダーの下の隙間に生地を入れ込みます。



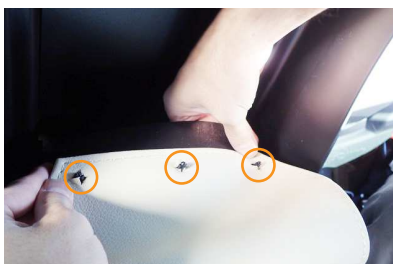
**10** ピンを元に戻します。



**8** 全て入れ込むと図のようになります。



**11** 19ページ4番で外した2本のボルトを元に戻し、アームレストを固定します。



**9** カバーの後ろの生地（フタ）に開いている加工穴に、19ページ3番で外したピンを通します。



**12** カバーのラインを整えて、2列目アームレスト（本体）の完成です。  
 ※この時点でアームレストを下まで倒してしまうと、座面がない分、余分に倒れてしまう為、10番で戻したピンが外れる恐れがあります。  
 ※この後に背もたれを車体に戻します。17ページの22番からご覧下さい。

## Step 7

## 2列目座面を車体に戻す方法



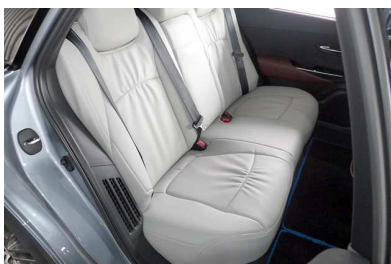
- 1** 18ページ30番で背もたれシートを車体に戻した後、座面シートを車体に戻して固定します。  
背もたれの下側に付いているフックに、座面付け根のフックの位置を合わせます。



- 4** シートベルトバックルを収納部にきっちりと収めます。



- 2** シートベルトバックルをシートの表側に出示します。  
1番の位置を合わせた状態からシートを背もたれ側に押し込みます。



- 5** シートを固定した後に再度カバーのラインがずれていないか確認します。  
シートを固定して2列目座面の完成です。



- 3** シート裏のフックと車体のツメの位置を合わせてシートを図のように押し込み固定します。  
カバーを装着したことにより、フックが掛かりづらくなっているので、体重を乗せてしっかりと押し込みます。  
フックが固定が出来た後は、シートを軽く持ち上げて、確実に固定出来ているか確認して下さい。

## Step 8

## ヘッドレストの装着方法

### 1 列目ヘッドレスト



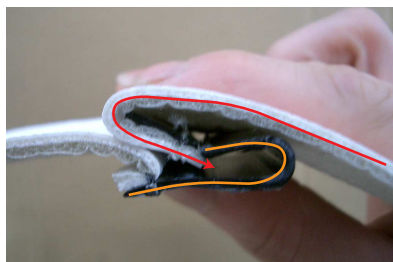
- 1** カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端がきっちり合うようにカバーをかぶせます。



- 4** ヘッドレスト裏のプラスチックフックを固定します。  
詳しい固定方法は**5番**を参照して下さい。



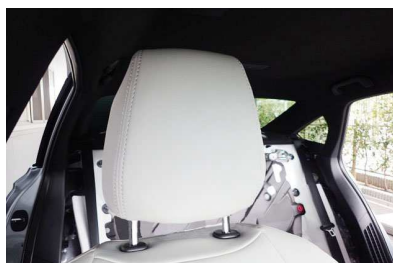
- 2** カバーを均等にすらしていき、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 3** ヘッドレスト裏のマジックテープ同士を貼り合わせて固定します。

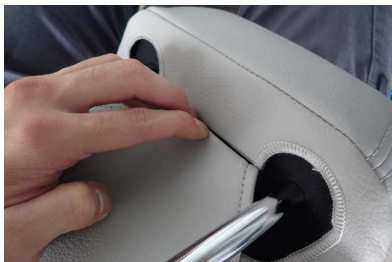


- 6** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。

## 2列目左右ヘッドレスト



- 7** カバーをヘッドレストの前側から後ろ側へ向かってかぶせます。



- 10** ヘッドレスト裏のプラスチックフックを固定します。



- 8** カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。  
形状は異なりますが、2列目中央のヘッドレストも同様に取り付けます。



- 9** ヘッドレスト裏のマジックテープ同士を貼り合わせて固定します。

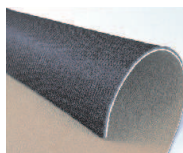


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816